

2017（平成 29 年）6 月

会員の皆様へ

日本タバコフリー学会 第 6 回学術大会 大会長 鳥屋 多可三
特定非営利活動法人日本タバコフリー学会 代表理事 藺 潤

第 6 回学術大会への演題提出及びご参加のお願い

日頃から NPO 法人日本タバコフリー学会の活動に、ご理解とご協力を賜り、まことに有難うございます。さて、第 6 回学術大会を 9 月 17 日（日）及び 18 日（祝）の両日、慶応義塾大学医学部東校舎（東京都新宿区信濃町）にて開催します。テーマは「東京オリンピック・パラリンピックまでに日本を完全禁煙に！～国際条約 FCTC の批准国としても～」です。日本のタバコ対策の先行きが危惧される中、しっかりと「FCTC 規準の完全禁煙実施、タバコフリーの社会を目指そう！」という本会の理念を発信したいと思えます。

本大会では、FCTC に基づくタバコ規制のお手本となる近隣諸国の取組みに焦点を当て、海外招請講演を準備しました。まず、フィリピンのダバオからドミン・ヴィラレイズ博士をお招きし、ASEAN 諸国でのタバコ対策を推進している SEATCA（東南アジアタバコ規制連合）及び FCA（FCTC 連合）西太平洋アジア地区の活動をご紹介します。また、前回大会で韓国での最近の画期的なタバコ規制をご講演いただいた韓国禁煙協会（KASH）のホングワン・スー博士（韓国がんセンター）とジャックヤング・リー博士（延世大学）をお招きし、規制後の状況と分析をご講演いただきます。

FCTC の批准国としての日本の今後の受動喫煙防止について、厚生労働省や東京都の取組みについての講演及びシンポジウムも用意しています。

特別講演（耳鼻科領域の疾病とタバコ）やランチョン・セミナー（第 1 日目・インプラントと禁煙）・ブレックファスト・セミナー（第 2 日目・口腔内疾患とタバコ）では、各領域の専門家のご講演を予定しています。

第 2 日目の一般演題発表は午前中の早い時間で終了し、遠くからの参加者も 2 日間のプログラム全てにご参加いただけるように配慮しました。

学会HPに参加申込み（事前登録がお得です）や演題募集、プログラム及び宿泊などのお知らせをアップしました。<http://tobaccofree-adv.main.jp/>

皆様の演題申込みとご参加を心からお待ちしています。

敬具